

2014年11月号

11月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 218



## 季節の変わり目…

温根内周辺では朝の最低気温がマイナスになる日が増えてきました。そうかと思うと暖かい日が数日つづき、鶴居軌道跡の湧水地付近では春に咲くフキノトウやオオバタネツケバナの花が咲いています。それでも冬は確実に近づいてきていて、遠くに見える雌阿寒岳は白く染まっています。温根内の初雪もそろそろのはずです。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ツルウメモドキ(実)】  
 ニシキギ科 蔓梅擬  
 朱色の実が美しいツルウメモドキは、紅葉が終わり葉を落とし、見通しが良くなった湿原周辺の森では鮮やかな色で目立ちます。



【オオバタネツケバナ】  
 アブラナ科 大葉種漬花  
 春に鶴居軌道跡沿いの湧水周辺で群落を作ります。小春日和を春と間違えて11月に花を咲かせてしまったようです。



【シナノキ(実)】  
 シナノキ科 科の木 楡  
 蕾の時に花を包んでいた包葉が翼のような形で残り、風を受けるとプロペラのようにクルクルと回りながら実を遠くへ運びます。



【ガマ(果穂)】  
 ガマ科 蒲  
 フランクフルトの様だった果穂はふわふわの綿菓子のように姿を変えています。風に吹かれて綿毛をあちこちに飛ばしています。



【アオクチブトカメムシ(卵)】  
 カメムシ科  
 ハンノキの枝に2列のきれいに並んだ不思議な模様の卵が産みつけられていました。このカメムシは卵で越冬するようです。



【タヌキ(溜め糞)】  
 イヌ科 狸  
 木道の上にタヌキの糞が落ちていました。溜め糞の習性があるので、たくさん溜るとヒグマの糞と間違えられることがあります。

○表紙の写真 上: ツリバナ 中右: イソツツジ 中左: アキタブキ (フキトウ) 下: ウグイス

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

ビジターセンター周辺の森は葉が落ちて見通しが良くなりました。カラ類の混群やキツツキ類がとても見やすく、タンチョウやオジロワシの目撃頻度も増えてきています。旅鳥は朝夕の木道上空を通過し、冬鳥も確認され始めました。野鳥観察にはおすすめの季節です。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出ししています。お気軽にご利用ください。



【ハシブトガラ】 留鳥  
シジュウカラ科 嘴太雀  
黒いベレー帽と蝶ネクタイ模様が特徴のハシブトガラは、他のカラ類と混群を作り、にぎやかにビジターセンター周辺を飛び回っています。



【キバシリ】  
キバシリ科 木走 留鳥  
目立たない模様で木の幹を回るように登りながらエサを探しています。「シリリリ…」というやさしい声が聞こえたら探してみましよう。



【ウグイス】  
ウグイス科 鶯 夏鳥  
さえずらないと識別が難しいウグイスも、10月下旬には温根内を旅立ち、来年の春まで暖かいところで越冬します。



【オオハクチョウ】 大白鳥  
カモ科 旅鳥（一部越冬）  
朝夕の木道上で隊列を組んで飛ぶ姿が見られます。多くが越冬の為南下し、周辺の湖が凍る厳冬期には温根内周辺から姿を消します。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（10月15日～11月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■アオサギ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■ハイタカ■ノスリ■フクロウ■コゲラ■アカゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■ツグミ■スズメ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

### ☆☆コラム「温根内のエゾシカ ～人気者？それとも厄介者？～①」☆☆

温根内ビジターセンター指導員 本藤泰朗

温根内木道を歩いていて一番出会う確率の高いほ乳類は何でしょうか？特定外来生物のアメリカミンクも季節によってはかなりの頻度で目撃しますが、一年を通して



遊歩道上のエゾシカ

という、なんととってもエゾシカが一番でしょう。今時期には「ラッピングコール」というどこか寂しげなオスの声が湿原に響き、至るところで湿原内をシカの歩いた道「シカ道」を確認できるので、姿が見えなくてもその存在を容易に知ることができます。訪れる観光客もエゾシカに出会うと大喜びで、ビジターセンター内の自然伝言板に日付と場所を記入していきます。そういう私も初めて北海道を車で旅したときに、羅臼町のガソリンスタンドで、山側の斜面にエゾシカが10数頭いるのを目撃

して興奮し、地元の人に「いつもこんなにたくさん見られるんですか？」と聞いたのを思い出します。

みなさんは「エゾシカ」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？「かわいい」「大きい」「オスには角がある」「最近増えて困っている」「つぶらな瞳」などいろいろな印象があると思います（北海道在住9年目の私は「おいしい」が一番目。

新鮮な鹿肉は塩コショウで焼いて食べるのが一番！。次に「車を運転するときには注意」です）。



湿原内のエゾシカ

エゾシカ【*Cervus nippon yezoensis*】は日本列島とユーラシア東部に広く分布するニホンジカのうち、国内最大の亜種で、北海道にのみ生息し、夏毛は明るい茶色に白い斑点が付き、秋に生えかわる冬毛は灰褐色



厳冬期のエゾシカ

です。野草や木の葉、牧草、農作物等を食べ、冬はササや樹皮を食べています。胃を4つも持っていて(牛ホルモン好きにはおなじみ?)、反芻(はんすう)して食べ物を細かくし、胃の中の微生物に消化できない植物繊維を分解してもらってから消化・吸収します。オスには立派な角が生え

ていて、毎年生えかわり、メスは生後2年目で繁殖し、6月頃に1頭の子鹿を産みます。

最近北海道で増えて困っていると言われるエゾシカですが、平成23年には農林業被害が60億円を超え、推定生息数も60万頭を超えていました。この問題を重く見た北海道による積極的な対策等により、平成23年度から生息数が減少に転じ、平成25年度には約56万頭と推定されています(H26.10 北海道エゾシカ対策課)。

それでは温根内周辺でのエゾシカの状況はどうなっているのでしょうか? [来月号へつづく]

### ☆☆☆☆自然ふれあい行事「秋の湿原ハイク」が開催されました☆☆☆☆



10月19日(日)、釧路湿原パークボランティアの若山氏の案内で、秋の湿原ハイクが開催されました。

花の季節が終わり、すっかり茶色になった一見何も無いように見える湿原で、やちまなこやちぼうすといった湿原特有の話から始まり、ふわふわに膨らんだガマの穂と私たちの生活との深いつながりの話、ヨシの歴史や文化の話などを楽しみました。また、「秋」と「紅葉」を季語に参加者全員で俳句を詠み、秋の湿原をそれぞれの言葉で表現し発表し合うなど、一味違った方法で秋の湿原を楽しみました。(参加者3名)

### ☆☆☆☆イベントのご案内(12月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪初冬の湿原ハイク～植物の越冬作戦を探る～

〔日時〕12月7日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

全てが枯れてしまったように見える湿原では、植物たちが長く厳しい冬に向けて様々な準備をしています。そんな植物の「越冬作戦」を知ると、来年の芽吹きもいつもと違って見えるはず。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこつと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪リースを作ろう

〔日時〕12月6日(土) 13:00～15:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕500円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

今年もいよいよクリスマスが近づいてきました。様々な自然の素材や、リボンなどを使ってオリジナルリースを作ります。一味違ったクリスマスを演出してみましよう。

#### ～冬季開館時間について～

冬期間(11/1～3/31)は開館時間が変更になります。冬季開館時間は10:00～16:00です。ビジターセンターご利用の際にはご注意ください。なお、冬期間は日没が早いので、木道をご利用の際は時間に余裕を持って暗くなる前にお戻りください。街灯等は一切ありませんので、真っ暗になり危険です。

.....  
月刊 温根内通信 No.218

発行: 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Onnenai.VC>

開館時間: 10:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料  
.....